

# 新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：国道・防災課  
担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道384号 <sup>おおつら</sup> 大浦バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	長崎県
起終点	自：長崎県南松浦郡 <sup>みなみまつらわかまつちよう</sup> 若松町 <sup>しゆくのうら</sup> 宿ノ浦 至：長崎県南松浦郡 <sup>みなみまつらわかまつちよう</sup> 若松町 <sup>しゆくのうら</sup> 宿ノ浦	延長	0.7 km		

**事業概要：**  
一般国道384号は、下五島の富江町を起点に福江港から上五島の奈良尾港に渡り、中通島を縦貫して有川港から佐世保市に至る延長約100kmの幹線道路である。大浦バイパスは、上五島地域における、産業・経済・観光の発展に重要な幹線道路であり、平成16年8月に市町村合併による上五島地域5町の広域行政の支援、医療圏の拡大に大きく寄与する2車線道路（0.7km）である。

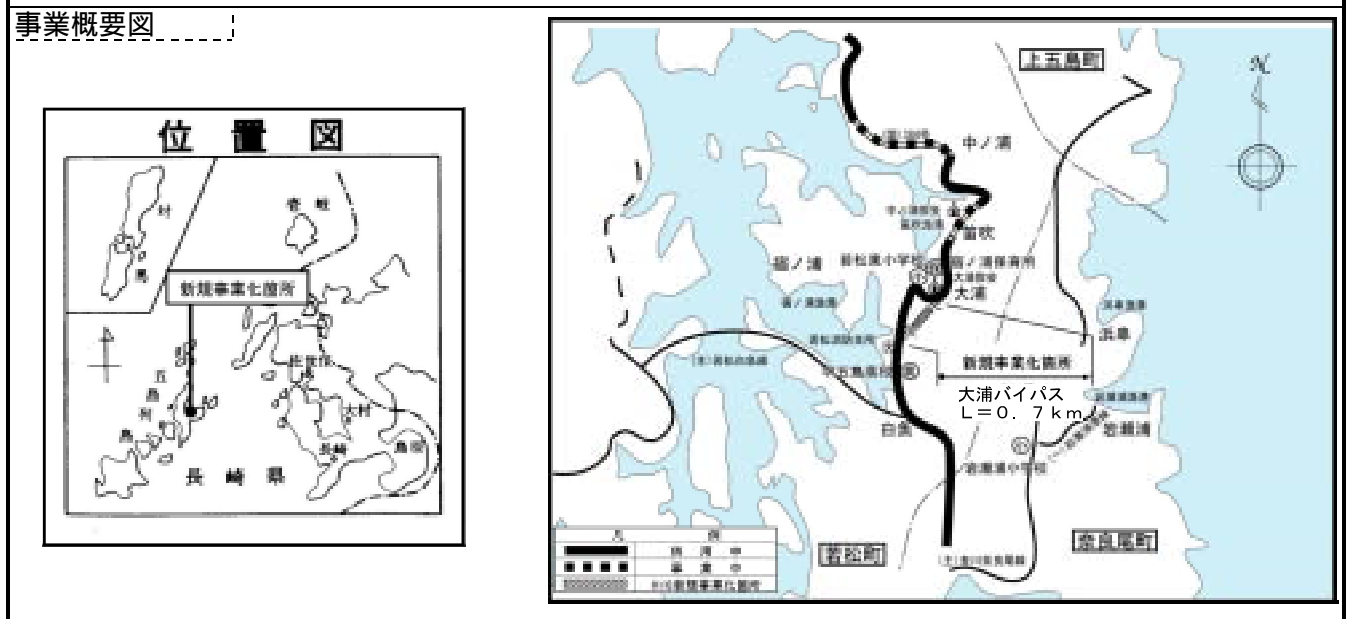
**事業の目的、必要性：**  
大浦バイパスは、幅員が狭小で線形が悪く大型車両の離合が困難な未改良区間を整備するものであり、平成16年8月に市町村合併による上五島地域5町の広域行政の支援、医療圏の拡大に大きく寄与するものである。

全体事業費	16 億円		計画交通量	2,500 台/日		
費用対効果分析結果	B/C	1.8	総費用	13 億円	総便益	24 億円
			（事業費：13億円 維持管理費：1億円）		（走行時間短縮便益：22億円 走行費用減少便益：2億円 交通事故減少便益：0億円）	基準年：平成15年

**感度分析の結果：**  
 交通量変動：B/C=1.9(交通量 +10%) B/C=1.6(交通量 -10%)  
 事業費変動：B/C=1.6(事業費 +10%) B/C=1.9(事業費 -10%)  
 事業期間変動：B/C=1.7(期間 +1年) B/C=1.8(期間 -1年)  
 割引率変動：B/C=1.6(割引率 +1%) B/C=2.1(割引率 -1%)

**事業の効果等：**  
 ・国土・地域ネットワークの構築（現道における大型車のすれ違い困難区間を解消する）  
 ・その他（合併後の中心地とのアクセス向上）  
 他8項目に該当（定量的評価項目含む）

**関係する地方公共団体等の意見：**  
 大浦バイパスは、市町村合併による広域行政の支援、二次医療施設がない地域における救急医療体制の拡充等に重要な役割を果たすことが期待されており、新魚目町をはじめとする関係11市町の首長で構成される五島地域道路整備促進協議会より早期整備の要望（平成15年10月2日）を受けている。



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。